媒体名	日本流通産業新聞	掲載日	2013年6月27日
タイトル	「第2回 エビデンス化粧品素材 特集」		

ニュートリション・アクト DNA修復促進作用を確認 植物由来素材「AC <u>1</u> 11

EM製造などを行うニュ を持つことが確認されて 5-7313) が提案す CEO、 電O3-547 は、DNA修復促進作用 康食品素材「AC-11」 る植物由来の化粧品・健 ートリション・アクト (本社東京都、石川雅仁 DNA修復の促進によ 健康食品・化粧品の〇

り、美容分野では、シミ 回の損傷を受けており、 期待される。 シワ、たるみ、くすみ、 トするのが「AC-11」 NAの修復機能をサポー 損傷の蓄積が老化や疾病 の改善につながることが 加齢とともに衰える、 D の原因といわれている。 酸素により1日最大5万万 炎症、光老化、キメなど DNAは紫外線や活件

は経口摂取で効果を発揮 果が確認された。サンバ 中の損傷DNAの修復効 照射2時間後の皮膚組織 は、AC-11添加群で、 外線を照射した試験で 確認している。 することを、各種試験で 細胞壊死)数も約5%抑 ーン細胞(紫外線による 3次元皮膚モデルに紫 AC―11は、塗布また

制できた。 が大きいほど美白の即効 ニングファクター(数値 ウジ酸塗布群のホワイト 較したヒト試験では、コ 白効果を、代表的な美白 肌におけるAC-11の美 性を表す)が1・7だっ 成分であるコウジ酸と比 コウジ酸を上回る美白効 布群は1・85となり、 たのに対し、AC-11塗 紫外線照射後の日焼け

のサンスクリーン剤の、 試験では、AC-11配合 紅斑・水ぶくれのいずれ 対する改善効果を評価。 ンスクリーン剤とくらべ 日光による肌トラブルに についても、非配合のサ 42人を対象にしたヒト

を含有しているのが特徴 さまざまな不ケン化成分 エイジングケアに役立つ ンオイル」も扱っている。 アルガンオイル特有の

写因子TGFβ1の生成 芽細胞の増殖に関わる転 湿・弾力成分を作る線維 不ケン化成分が、肌の保 を促進することが確認さ

果が明らかになった。

有意に発生率が減少し を含有し強い抗酸化力を の2倍以上のビタミンE の他に、オリーブオイル 持つ植物オイルーアルガ 同社では「AC-11」